

JA全農 WEEKLY

4-5面

京都大学iPS細胞研究所 山中伸弥所長 × JA全農経営管理委員会 長澤豊会長
 対談 元気な社会、いのちを守る社会へ手を携えていきましょう(広報・調査部)

7面

ベルギープロサッカーチームのイベントで国産農畜産物PR

(JA全農インターナショナル株)



国産農畜産物PRに一役買う日本代表ゴールキーパーでもある、ベルギーのシント＝トロイデンVV所属のシュミット・ダニエル選手(7面)



100%岡山県産野菜を使用した「パッ!と晴れの国サラダ」(3面)



iPS細胞技術の啓発と寄付促進に向け業務連携協定締結後、対談する全農の長澤豊会長(左)と京都大学iPS細胞研究所の山中伸弥所長(4-5面)

2 共同購入トラクター提案活動表彰式開催(耕種資材部)

令和元年度の作物栽培総合技術研修開講(耕種総合対策部)

3 大嘗祭の献上米に「京都丹波キヌヒカリ」(京都府本部)

「パッ!と晴れの国サラダ」発売(岡山県本部)

岐阜柿「天下富舞」を東京で初めて販売(岐阜県本部)

6 福岡マラソンで焼き餅配布(米穀部)

園児・児童が描いた牛乳・牛の絵表彰(長野県本部)

小学生の「キュウリ栽培大作戦」で審査(福島県本部)

8 ANA機内で全農グループ商品を販売(全国農協食品(株)、大分県本部)

「JA全農 COUNTDOWN JAPAN」プレゼント(広報・調査部)

JAタウンショップ紹介
 さが風土館 季楽(JAさが)

Web版JA全農ウィークリーはこちら



<https://www.zennoh-weekly.jp/>

Web限定

卓球T2ダイヤモンドシンガポール大会でおむすび提供(広報・調査部)

全農×虹コン ミュージックビデオ「響け!ファンファーレ」公開(広報・調査部)

どど〜んと「どんぶり」スポーツ応援キャンペーン第2弾(広報・調査部)

共同購入トラクター提案活動表彰式を開催

全国から3JAと10人の担当者が受賞

耕種資材部

優秀賞を受賞したJAの担当者ら。手前中央は全農の久保省三常務理事



共同購入トラクター(大型)は、JAグループが全国の生産者に提案して購入を結集することでおおむね2〜3割の価

を開きました。耕種資材部は11月6日、東京・大手町のJAビルで「共同購入トラクター提案活動表彰式」

格引き下げを実現しました。

表彰式では、生産者への積極的な提案活動を展開して成果を上げた3JAと10人の担当者が優秀賞を受賞しました。

事例発表では、JAなすのサービス(株)の小玉恒夫氏、JA愛知みなみの荒木武文氏、JA津安芸の高岡紀覚氏、JA宮崎中央の河野康幸氏から、営農・金融など他部門との連携、共同購入トラクターの機能やコンセプトを生かした提案活動、イベントや広報による推進活動などについて、優良事例が発表されました。



JAの部(3JA)

県名	JA・子会社名
栃木	JAなすのサービス(株)
群馬	JA佐波伊勢崎
愛知	JA愛知みなみ

JA担当者の部(10人、敬称略)

県名	JA・子会社名	氏名
青森	株エコー	中野渡 勝則
宮城	JAみやぎ登米	鈴木 和稔
福島	株JAサービス夢みなみ	芳賀 勝則
栃木	JAなすのサービス(株)	渡邊 節雄
埼玉	JA埼玉ひびきの	戸矢 幸男
愛知	JA愛知みなみ	荒木 武文
三重	JA津安芸	高岡 紀覚
徳島	JA板野郡	佐藤 直弘
大分	JAおおいた	御手洗 亮平
宮崎	JA宮崎中央	河野 康幸

令和元年度「作物栽培総合技術研修」が開講

園芸作物における営農技術の強化を目指す

耕種総合対策部

全農式トク箱養液栽培システム「ういずOne」の設置・定植実習



この研修はTACの園芸分野での技術・実践力向上を目的とし、技術全般を学習する「総合研修」と県本部実践農場での実習を主体とした「作物別研修」から成ります。10月29日から4日間の日程で開催した「総合研修」では、栽培技術概要や肥料農薬・資材に関する応用知識の講義に加え、苗の定植や土壌の簡易分析、経営改善手法などの実習を組み入れた研修を行いました。受講者からは、現場で活用できる幅広い技術が習得できたとの声が聞かれました。

耕種総合対策部は10月29日、今年度の「作物栽培総合技術研修」を開講しました。

News!



大嘗祭の献上米に「京都丹波キヌヒカリ」

3年連続で特A評価獲得の銘柄

京都府本部

大嘗祭の献上米に選ばれた「丹波キヌヒカリ」



増大につながります。JAグループ京都ではこれを機に生産振興活動を強化し、府内農畜産物のブランド力のさらなる向上と販売力強化および農業所得の増大につながります。

京阪神の都市部に近接している京都丹波地域で収穫された「キヌヒカリ」は日本穀物検定協会が発表している米の食味ランキングで、平成28年から3年連続で特A評価を獲得し生産者の高い技術力と生産意欲が評価されています。

11月14日から15日にかけて行われた、天皇陛下下の皇位継承に伴う一世一度の重要儀式である宮中祭祀「大嘗祭」で「京都丹波キヌヒカリ」が献上米として選ばれました。

News!



「パッ!と晴れの国サラダ」発売

100%県産野菜を使用し包材は容器に

岡山県本部

開けると容器になるテトラタイプの包材を使用した「パッ!と晴れの国サラダ」



野菜は、県本部が契約栽培をしているキャベツ・レタスなど、100%岡山県産です。包材にはテトラタイプを使用し、開けるとそのまま容器になります。1袋80g入り、98円(税別)。県内のスーパーなどで販売されます。

岡山県本部は、8月に県内業者4社と締結した「100%岡山県産カット野菜推進に関する協定書」に基づき、取り組みを進めています。その第1弾商品として11月4日、(株)まるみやから「パッ!と晴れの国サラダ」の販売を始めました。

News!



岐阜柿「天下富舞」を東京で初めて販売!

首都圏の消費者へ甘さと食感をアピール

岐阜県本部

都内の百貨店で販売した柿「天下富舞」。左は糖度20以上の「大将」(3個5万4000円)、右は糖度18以上の「武士(もののみ)」(6個3万2400円)



販売は4年目を迎えますが、都内での販促活動は初めてです。三越日本橋本店と銀座三越に入る果実専門店「サン・フルーツ」で試食を勧め、大玉で糖度が高くサクサクとした歯触りの良い食感を消費者にアピールしました。

岐阜県本部は11月3、4日、東京都内の百貨店で、岐阜オリジナルのブランド柿「天下富舞」の試食宣伝会を岐阜県の協力を得て行いました。

対談

京都大学 iPS 細胞研究所

山中伸弥所長

× J A 全農経営管理委員会

長澤豊会長

iPS 細胞技術の啓発と寄付促進に向け業務連携協定締結

元気な社会、いのちを守る 社会へ手を携えていきましょ

全農は10月28日、京都大学 iPS 細胞研究所との間で、iPS 細胞技術の啓発と研究支援のための寄付促進を目的とする業務連携協定を締結しました。この連携に際し、同研究所所長の山中伸弥教授をお招きし、本連携の意義や農業が抱える問題などについて、全農の長澤豊経営管理委員会会長と話し合っていました。

【広報・調査部】

長澤豊会長 本日はお忙しいところお時間をいただきありがとうございます。また、お会いすることができて光栄です。

山中伸弥所長 こちらこそありがとうございます。研究所の広報活動を全農さんがサポートしていただける協定を結ぶことができ、大変うれしく思います。「知らせる」活動の大切さ、大変さは身に染みて理解しているつもりです。



京都大学iPS細胞研究所

山中伸弥所長

長澤会長 山中先生の研究も私たち J A 全農の事業も「いのちを守る」という共通の

理念があり、奥深いところでつながっていると思っております。先生はかつてお父さまを当時良い治療法の無かった病気で亡くされ、それが医学の研究を目指すきっかけとなったと伺いました。

医学の発展でそれまで救えなかったいのちが救えるようになるのは素晴らしいことですよ。その経験が今の iPS 細胞の研究につながっていると思います。

長澤会長 私の先祖は百姓の長、いわゆる名主という地位で当時冷害に苦しむ農民たちのために領主に直訴し打ち首になりました。私の家の近くにはそのご先祖様を祀る神社があり私の生きざまにも影響を与えています。

山中所長 当時の冷害・干ばつは「餓え死に」と背中合わせでした。今も大きな災害が人々のいのちや生活に与えるダメージは大きいですね。同じく病気もまだまだ人類



プロフィール

やまなか・しんや 1962年、大阪府生まれ。87年神戸大学医学部卒、国立大阪病院臨床研修医を経て、93年大阪市立大学大学院医学研究科修了。米国・グラッドストーン研究所へ博士研究員として留学、iPS細胞研究を始める。2010年から京都大学iPS細胞研究所所長・教授。12年文化勲章受章、ノーベル生理学・医学賞受賞。マラソンを趣味とし、日本に寄付文化を根付かせる事を目的に、寄付募集のためのマラソン大会出場も恒例となっている。19年の金沢マラソン大会で3時間24分19秒と自己ベストを更新した。

にとつての脅威です。

パーキンソン病に 卓球の運動療法が有効

長澤会長 全農では、卓球の日本代表オフィシャルスポンサーとして、アスリートの食を日本の食で支えています。先日、卓球がパーキンソン病という難病の運動療法として非常に有用であることを知り、驚きました。iPS細胞は、そのパーキンソン病の

新しい治療法の開発にも使われていますよね。

山中所長 パーキンソン病は脳の異常のために、体の動きが鈍くなったり、手足の震えが現れる病気です。脳のドパミン神経細胞の減少によって起こることから、iPS細胞から作製したドパミン神経前駆細胞を移植する治療法を現在開発中です。全農さんが力を入れている卓球と、iPS細胞がともにパーキンソン病にアプローチしているという共通点があるんですね。
長澤会長 パーキンソン病だけではなく、高齢化も大きな問題です。農村地域は日本全体の平均よりも大きく高齢化が進んでいます。地方の重要な産業である農業も例外ではありません。農業従事



JA全農経営管理委員会

長澤豊 会長

者の高齢化に伴う認知症やアルツハイマーなどの病気の問題もますます深刻になっていきます。

研究の大きなテーマは「健康寿命を延ばす」

山中所長 私たちの研究の大きなテーマは「健康寿命を延ばす」です。健康寿命と平均寿命にはまだ10年の差があります。「人生の終末をできるだけ長く健康に」、の実現は高齢化社会における医療の重要な役割です。加齢による細胞の劣化によって引き起こされるアルツハイマーなどの病気に対するiPS細胞を使った再生医療の研究も進んでいます。

長澤会長 農業に定年はありませんから健康寿命を延ばすことは農業の人手不足緩和にも貢献できますね。地域の活性化や里山の自然を守るためにも地方が率先して活気ある高齢化社会をつくらないといけません。

山中所長 難病の治療法や特効薬の開発には長い年月とお金が必要です。開発初期のうちには国の資金を活用させていただきますが、国の資金は、競争的資金と呼ばれるもので、使途や期限が限られています。また、企業も実用化が見えてこないことと研究に対する支援が難しいことから、途中で資金不足に陥り研究を断念せざるを得ないケースも

少なくありません。iPS細胞研究のように20年、30年とかかる長期的な取り組みでは、一般の方々からのご寄付も活用させていただきながら、研究を維持していきたいと考えています。

長澤会長 協同組合も組合員一人ひとりの出資金で運営されています。だからすべての組合員が平等に協同組合を利用することができるので、先生のお考えと私たちの理念には近いものを感じますね。

山中所長 元気な社会、い



全農の研究所職員と意見交換

長澤会長との対談後、山中所長に、全農の研究所職員と意見交換の時間を取っていただきました。大学での研究と企業での研究の違いなどについて意見を交わし、なかでも、山中所長の「企業での研究は目的がはっきりしているが、研究においては想定していない結果が重要で、そこからブレイクスルー（進歩、前進）が生まれる。そのバランスが難しい」という話は示唆に富むものでした。

JAグループ役職員の皆さんもiPS細胞研究所への寄付をお願いします

iPS細胞研究基金のWebサイトから、Yahoo!ネット募金、京都大学基金により寄付できます。
※寄付金は、税額控除の対象になります

iPS細胞研究基金
サイトはこちら



のちを守る社会をつくるためにこれからも手を携えていきましょう。

福岡マラソンで焼き餅を配布

ランナーの栄養補給に国産もちをPR

米穀部

全農は11月10日、昨年に引き続き「福岡マラソン2019」に出展し、ランナーを対象に焼き餅の配布ともち米に関するパネル展示を行いました。

当日は天候に恵まれ、約1万2000人の参加者がゴールする中、餅配りのブースは大盛況となり、焼き餅8000個をご試食いただきました。

全農は「お餅は、エネルギー源となる糖質が多く含まれ、持久力スポーツに適した食材であること」をPRし、マラソン大会を中心に、国産もち米の消費拡大に向けた取り組みを継続します。



ゴールしたランナーらに焼き餅を配布し、スポーツの栄養補給に適した食材であることをアピールする全農職員

園児・児童が描いた牛乳・牛の絵を表彰

「くらしと牛乳、牛さんありがとう」絵のコンクール

長野県本部

長野県本部が事務局を務める長野県牛乳普及協会は11月9日、長野市内で「第34回くらしと牛乳、牛さんありがとう絵のコンクール」の表彰式を開きました。

このコンクールは園児・児童の牛乳利用普及拡大と酪農への理解醸成を目的としています。

応募総数718点の中から、金賞、銀賞、銅賞(各10人)などが表彰されました。入賞作品は「牛乳をおいしそうに飲む姿や、力強い牛が描かれており、素晴らしい」と評価されました。



県知事賞を受賞した須坂小学校の佐藤結哉さんの作品

小学生がキュウリの栽培とレシピ作りに挑戦

「キュウリ栽培大作戦」の審査会を開催

福島県本部

福島県本部と福島民報社、JA福島中央会は10月31日、福島市内で「福島発のキュウリビジネス 愛情込めてキュウリ栽培大作戦」の審査会を行いました。

この取り組みは、県内の小学校にキュウリの苗を提供し、栽培日記とキュウリの料理レシピを出品してもらうものです。生命ある食べ物やそれを作ってくれる農家、保護者などへの感謝の気持ちを育むことが目的です。

今年の参加25校の中で最優秀賞には、2年連続となる郡山市立桑野小学校が選ばれました。



応募があった栽培日記とキュウリの料理レシピを審査する関係者

ベルギープロサッカーチームの イベントで国産農畜産物PR

日本産米と和牛を使用した牛丼が好評

J A全農インターナショナル(株)は10月27日、ベルギーのプロサッカーチーム「シントトロイデンVV (STVV)」が開いたイベント「ジャパンデー」で、牛丼の材料として日本産米と和牛を提供し、国産農畜産物をPRしました。

【J A全農インターナショナル(株)】



スタジアム来場者に牛丼を提供

日本とつながりを深める 「シントトロイデンVV」

シントトロイデンVVは、ベルギー東部のシントトロイデン市を本拠地とするプロサッカーチームです。1924年創立と歴史があり、ベルギー1部リーグで活躍しています。

2017年に日本企業が経営権を取得して以来、日本人選手が多く移籍するなど、日本とのつながりを深めています。今年7月にはJETRO(日本貿易振興機



日本産米と和牛を使用した牛丼

「ジャパンデー」で スタジアム来場者に 牛丼を提供

構)の認定を受け、ベルギー国内で日本産食材を積極的に活用している飲食店・小売店を「日本食材サポーター店」として認定する活動を行っています。

10月27日のホームスタジ

アムでの試合開催に合わせて、

来場者に日本の食材、食品を無償で提供し、楽しんでもらうイベント「ジャパンデー(Japan Day)」が開かれました。多くの日本企業が協賛する中、J A全農インターナショナルが提供した日本産米と和牛は牛丼に調理され、来場者に振る舞われました。EU大使公邸のシェフが調理した牛丼は、お客さまから大変好評でした。

また、ジャパンデーの開催に合わせ、チームの所属選手やスタッフに、J A全農インターナ

シヨナルが輸出した日本産米(茨城県産コシヒカリ)を贈呈しました。

今後は単発イベントに終わらず、スタジアムで日本産米を使用した料理などの販売、クラブハウスへの食材の納品など継続的な輸出版売を前提に進めています。

全農グループは、海外で活動する選手やスタッフを「ニッポンの食」でサポートし、また海外で「食」文化交流を図るなど、今後も海外での日本食普及と国産農畜産物の輸出拡大に取り組んでいきます。



日本代表ゴールキーパーでもある、シント=トロイデンVV所属のシュミット・ダニエル選手

ANA機内で全農グループ商品を販売

全国農協食品(株)
「にほんのドライフルーツ」

(株)ジェイエイフーズおおいた
かぼすハイボール

全日空(ANA)国内線の機内で、全農グループ会社の全国農協食品(株)の「にほんのドライフルーツ」、(株)ジェイエイフーズおおいたの「かぼすハイボール」が販売されています。

【全国農協食品(株)、大分県本部】

「にほんのドライフルーツ」のANA限定セレクトBOXは、11種の果実が入ったオリジナル商品(通常版は8種)。「かぼすハイボール」は大分県産カボス果汁を使用した本格辛口ハイボールです。

12月のメニューのため、年末の帰省や旅行の際に、ぜひご利用ください(「かぼすハイボール」は3月まで販売予定)。



「にほんのドライフルーツ」のANA限定セレクトBOX(1200円、税込み)



かぼすハイボール(500円、税込み、おつまみ付き)

全農 ZEN-NOH COUNTDOWN JAPAN リスナープレゼント

毎週土曜日13時~ TOKYO FM系列38局ネット

12月7日放送のプレゼントは、広島県本部の耕畜連携ブランド「3-R(さんあーる)」から「無洗米 3-Rおあさこしひかり」(300gパック×5袋×3セット)を3名様に。また、JAタウンギフトカード4500円分を1名様にプレゼントします。

【広報・調査部】



応募は番組ホームページで受付中です。



応募締め切りは12月7日の放送でランキング1位の曲が発表されるまでです。

こちらの商品はJAタウンからご購入いただけます。

JAタウン <https://www.ja-town.com/shop/c/c6301/> (ショップ名:広島とれたて元気市)

JAタウン ショップ紹介

JAタウン | 検索 クリック

さが風土館 季楽 (JAさが)



JAタウンは
こちらから



佐賀県産 紅姫ものがたり
(約2.5kg).....4800円

JAさが直営「さが風土館 季楽」から紹介するのは、JAさが大和地区独自のブランド柑橘「紅姫ものがたり」です。

品種は、艶があり濃いだいだい色が特徴的な「津之輝」。甘みと香りが強く酸味のバランスも良いため濃厚な風味が感じられます。またじょうのう膜が薄く皮がむきやすく食べやすいので、好評を得ています。

ハウス栽培の「津之輝」から光センサー選果で、より高精度の果実を厳選し、選び抜かれたものだけが「紅姫ものがたり」と呼ばれます。

「さが風土館 季楽」はこの他に、「佐賀牛」や「お米」など佐賀で育った農畜産物や海産物、手間暇かけたお酒や加工品など数多く取り扱っております。ぜひこの機会に冬の贈り物としてご利用ください。

JA全農のインターネットショッピングモール ▶ご注文は <http://www.ja-town.com> ▶お問い合わせは shop@ja-town1.com

※本誌を通じていただいた注文などで取得した個人情報は、商品等の発送にのみ使用します。

